

報告事項キ

「令和4年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

「令和4年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について、別紙のとおり報告します。

令和4年8月8日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

「令和4年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

令和4年8月8日
高等学校課

1 概要

本事業は創造力とチャレンジ精神を持った高校生が、自由な発想で主体的に企画・活動することを支援し、さらには、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につながることを目的として平成26年度から実施している。今年度は、選考を通過した以下の4企画を採択し、支援することとした。

(1) 「米子東高校打上花火大会」

(米子東高校 代表 足立 優子) (支援額 30万円)

コロナ禍において閉塞感の漂う中、地域や学校に活気を取り戻すため、地域の方々と明るいひと時を共有するため、また、医療従事者の方々へ感謝し、新型コロナウイルス感染症収束の願いを込めた花火大会を開催する。

(2) 「星撮県フォトコンテスト」

(米子東高校 代表 村家 帆南) (支援額 25万円)

「若者がつくる星取県ネットワーク」に所属している米子東高校自然科学部が主体となってフォトコンテストを開催することで、若者に星を見るきっかけをつくとともに、鳥取県が日本有数の星の名所であるという魅力のさらなる認知に努める。

(3) 「鳥取県の科学系部活動における合同合宿」

(米子東高校 代表 土海 孝太) (支援額 35万円)

県下の高校生の科学的交流を合宿形式で行い、将来鳥取県科学の未来を担う人材を育成すること、および科学系部活動のネットワーク構築、各校科学部のさらなる発展を目指す。

(4) 「AI 技術を使って、鳥取の梨を守るプロジェクト！」

(米子工業高等専門学校 代表 今出 賢太郎) (支援額 40万円)

鳥取の地場産業である農業・漁業等をAI等の先端技術により活性化する。カラスの食害を低減するためにAIを用いた画像認識と撃退システム(音・光・ドローンなど)を連動させ、カラス等の有害鳥類による慣れ防止機能を導入した農作物保護システムの実現を目指す。

2 応募状況

4企画

3 選考までの経緯

4月13日 県内高等学校、特別支援学校高等部及び米子工業高等専門学校に募集通知を发出

5月27日 受付締切
1次(書類)審査

6月25日 2次(プレゼンテーション)審査

7月13日 決定通知

4 再募集について

1企画の補助金額上限を30万円(残りの予算70万円)とし、現在、同プロジェクトを再募集中。再募集にかかる日程は以下のとおり。

- ・ 8月3日 受付締切
1次(書類)審査
- ・ 8月下旬 2次(プレゼンテーション)審査
決定通知